



たてやま

議会だより

芦峯保育所 町立として最後の修了式



平成22年
3月定例会

| | | |
|------------|-------|-----|
| 議会の役割 | _____ | 2P |
| 一般質問 9名が登壇 | _____ | 3P |
| 常任委員会の審議 | _____ | 8P |
| 議会活動日誌 | _____ | 10P |

No. 35

2010. 5. 1

発行/立山町議会
責任者/議長 窪田一誠
編集/広報特別委員会



就任のご挨拶

立山町議会議員
窪田 一誠

町民の皆様方には日頃より町議会に対しましてご理解とご支援を戴き、心より厚くお礼申し上げます。

この度、2月10日の臨時議会におきまして、議員の皆様方のご推挙により、立山町議会議長の要職に就くことになりました。私にとりましては、誠に身に余る光栄でありますと共に、衷心より感謝している次第です。また、責任の重大さを痛感し、職責を真摯に遂行出来るようにと新たな決意をしているところであります。

就任最初の3月定例会では、平成22年度一般会計予算等、提案された議案はいずれも原案の通り可決されました。

今年度は、立山町におけるこれからの10年間の政策指針を示す「第9次総合計画基本構想」策定の年であり、(仮称)「元氣創造館」の建設をはじめ、小中学校のメンテナンスなど、待ったなしの数多くの課題を抱えています。

議会といたしましては、少子、高齢化が急激に進む中で、当局と議会が連携を図り、まず「安心・安全の町」「町の特徴や資源を活かし自立できる町」「時代を担うこともたちがいきいきと輝ける町」を目指しながら、町民の皆様方の負託に出来るべく努力して参りたいと思っております。

町民の皆様方のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

各議員の役割 (2月10日発足)

| 議 長 | 窪田 一誠 | | | | |
|-------------------------|----------|----------|--------|-------|--|
| 副 議 長 | 佐藤 康弘 | | | | |
| 総務教育常任委員会 (7人) | (正) 桑原米蔵 | 佐藤 康弘 | 後藤 智文 | 坂井 立朗 | |
| | (副) 亀山 彰 | 窪田 一誠 | 米田 俊信 | | |
| 産業厚生常任委員会 (7人) | (正) 町田信子 | 中川 太一 | 伊東 幸一 | 村田 昭 | |
| | (副) 石川孝一 | 村井 隆夫 | 高嶋 清光 | | |
| 議会運営委員会 (6人) | (正) 坂井立朗 | 石川 孝一 | 村田 昭 | | |
| | (副) 村井隆夫 | 米田 俊信 | 高嶋 清光 | | |
| 立山自然保護特別委員会 (7人) | (正) 村井隆夫 | 桑原 米蔵 | 坂井 立朗 | 窪田 一誠 | |
| | (副) 米田俊信 | 村田 昭 | 高嶋 清光 | | |
| 議会広報特別委員会 (7人) | (正) 町田信子 | 亀山 彰 | 中川 太一 | 佐藤 康弘 | |
| | (副) 後藤智文 | 伊東 幸一 | 石川 孝一 | | |
| 企業誘致促進調査特別委員会(14人) | (正) 高嶋清光 | (副) 米田俊信 | 議員 全 員 | | |
| 監 査 委 員 | 伊東 幸一 | | | | |
| 富山地区広域圏事務組合議会議員(2人) | 佐藤 康弘 | 窪田 一誠 | | | |
| 富山地域衛生組合議会議員(2人) | 町田 信子 | 桑原 米蔵 | | | |
| 中新川広域行政事務組合議会議員(4人) | 坂井 立朗 | 米田 俊信 | 村井 隆夫 | 高嶋 清光 | |
| 滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員(3人) | 伊東 幸一 | 石川 孝一 | 村田 昭 | | |
| 町都市計画審議会委員(2人) | 村田 昭 | 高嶋 清光 | | | |
| 民生委員推薦会委員(2人) | 石川 孝一 | 町田 信子 | | | |

知りたいことも

一般質問

望むことも



前沢中央線開通式（4月1日）

3月定例会で行われた一般質問です。
くわしくは、図書館や議会事務局に
議事録があります。
ホームページでもアクセスできます。
<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

村田 昭 議員



（仮称）元気創造館を迅速に
議員 町長選の結果で、元気
創造館建設に対する町民の
意思が明確に示された。今
後の整備計画は。

来年度までに完成予定

町長 4月に基本設計業者を
決めるとともに、用地・補
償交渉を本格化し、7月
には実施設計を発注したい。
平成23年1月着工し、完
成は平成24年3月を予定し
ている。総事業費は約19億
円を見込む。

予算編成の基本姿勢

議員 町長の2期目最初の予
算編成は、どのような基本
姿勢で、何に重点を置いた
か。

「いまやるべきこと」に重点

町長 「中心力」「教育力」「地
域力」を柱にして取り組
む。中心力では中心市街地
の活性化、教育力では立山
中央小学校校舎改築、地域



（仮称）「元気創造館」建設予定地（五百石駅）

力では中山間地定住対策
や、農業農村整備などに取
り組む。

立山中央小学校校舎改築は

議員 基本構想策定費が予算
化されている。地区住民の
声をどう反映されるのか。

最優先とする

教育長 基本構想策定委員会
を立ちあげ、今年度2回話
し合いの場を設ける。今後
は、学校現場、保護者の
方々、地区の皆様と更に
色々意見を交換していく。
まだ耐震化されていない校
舎の改築を最優先とし、基
本構想をまとめる。

中川 太一 議員



円滑な運営を支援
 町長 シルバー人材センターは、高齢者の就業の場を確保し、高齢者の生きがい、健康増進を担っていると考えている。今後、ますます進展する高齢化社会の地域ニーズに応え、高齢者福祉の観点に立ち、シルバー人材センターの事業が円滑に運営されるよう町としても支援していく。



シルバー人材センターへの支援強化を

議員 地域社会に多大な貢献が期待できるシルバー人材センターに対して、今までの以上の支援強化が必要だと思いが町の考えはどうか。

不安解消に努める

町長 22年度から実施されるこのモデル事業については、国の施策がまだまだつきりしない部分があり、農家の方々に不安感を与えていると思われる。国や県の施策を正確かつ迅速に把握して対処する。平成23年度からの本格実施に向けての課題を、農家の皆さんとの意見交換を行って、国・県の施策に反映されるよう努めていく。



立山町シルバー人材センター(総合公園)

米の所得補償モデル事業は

議員 米の所得補償モデル事業に不安を感じている農家に対する助言、指導はどのように考えているか。

佐藤 康弘 議員



(仮称)元気創造館の早期建設を

議員 選挙で信任を得たものであり、一日も早い建設を。最大の努力
 町長 担当の係を新設し、事業の円滑な実施に向けた準備など仕事を進める。

2期目の抱負は

議員 これからの任期4年間は、町の将来を見据えた、大変大切な4年間であると思いがどうか。

三つの力で町を元気に

町長 五百石駅と一体化した(仮称)元気創造館の建設で、まちの中心力、また、地域産業の創出と強化、企業誘致の推進で地域経済の再生を図り、地域力の強化に努める。さらに未来を担う子供たちのために、学校施設の整備を推進し、引き続き教育環境の向上を図る。また、基礎学力向上カ

消防の広域化は

議員 枠組み決定の進捗状況は。

情報の収集に努める

消防委員長 議会全員協議会を踏まえて、富山市・立山町・舟橋村との広域化を検討したが、いまだ進展せず現在は白紙である。県東部の市町村では、消防の県内一本化という意見を主張されている首長もいることから、不確定な要素もある。県東部の任意の協議会に参加して情報の収集に努めたい。



高嶋 清光 議員



(仮称)元気創造館建設後の町財政はどうか

議員 事業費は19億円である。内訳は国の交付金5億6,300万円、町の起債(交付税措置なしの借金)が9億円、一般財源が4億4,000万円である。借金の返済は、毎年元金と利息でいくらかなのか。

大丈夫

町長 3年据え置きで17年間年6,500万円ほど。
 議員 管理費・その他は、1年間でどれくらいとみているか。
 町長 年5,000万円かかると予想される。

議員 1年間で1億1,500万円財源が必要。22年度見積りで118億円の地方債借金があり、ここ2年間で5億3,900万円増加する。今後、実質公債比率・将来負担比率・経常収支比率が悪化しないか。特に20年度は将来負担率が県

と予想される。



改築が見込まれる立山中央小学校

固定資産税率を元に

議員 20年度に上げた固定資産税率を元に戻す考えはあるか。また何年度に戻すのか。

今はできない

町長 現段階では、税率を元に戻す年度を申し上げることは出来ない。

亀山 彰 議員



布橋灌頂会

議員 立山信仰に基づく布橋灌頂会への支援体制は。できる範囲で支援

町長 平成20年からふるさとづくり推進基金に積み立てを行っている。立山町観光協会をサポートし、開催が決定すれば資金面も含め、できる範囲での支援をしていきたい。

トイレの改修は

議員 水洗化されていない岩峠雄山神社のトイレの改修予定は。

関係機関に働きかける

町長 雄山神社周辺は、国の自然環境整備交付金の活用も可能であり、時期をみて関係機関に働きかけたい。

立山若峠小学校の休校に伴う今後の対応は

議員 スクールバスが利用している道路、及び秋が島用



拡幅が望まれる橋(宮路)

水橋梁の拡幅を。

町長 新規の道路改良は大変厳しい。歩道橋の設置は、整備方法や費用面、地権者などを調査し、総合的に検討したい。

議員 スクールバス運行時間と子供たちへの配慮を。

教育長 千垣地区へ送迎しているスクールバスを若峠寺地区へ延長する。実りある学校生活を送れるよう「安全第一」に運行できるように配慮したい。

議員 立山若峠小学校舎の今後の利用予定は。

教育長 立山小学校体育館完成までの間、立山小学校児童の体育の場として利用する。その後は、若峠寺地区の貴重な社会的ストックとして有効活用したい。

リキユラムにより教育力の向上を目指す。

高齢化社会に対応したまちづくりは

議員 危険な側溝や用排水路の改修、また転落防止柵の設置、歩道の整備が急務ではないか。

積極的に取り組む

町長 道路側溝の整備や農業用排水路のガードレール、転落防止柵等の設置は随時整備を図っているが、更に安全対策の充実を図っていきたい。

後藤 智文 議員

子ども医療費は小学校6年生まで完全無料化を
 議員 上市町や舟橋村のように完全無料化を図るべきではないか。
実績見て検討
 町長 通院医療費がひと月1,000円を越えた場合は助成する。これは、自己負担軽減を図ることを目的としたもの。無料化については実績を見て検討したい。



(仮称)元気創造館の財源は大丈夫か
 議員 まちづくり交付金は廃止されたが、5億6,300万円の補助金は確保されるのか。
確保できる
 町長 まちづくり交付金は「社会資本整備総合交付金(仮称)」に統合される見込み。位置づけは変わらないので、その交付金は確保できると考えている。

米寿祝い品は継続を
 議員 米寿祝い品の廃止は止め、これまで通りお年寄りに敬意を払うべきではないか。
敬老会助成で
 町長 平均寿命の延伸や高齢人口増加に伴い、お祝いする意義が薄れた。県も廃止をしているので敬老会助成で敬意を表したい。

小学校に遊具を
 議員 体力向上や仲間意識を育てるために学校に遊具を。教育環境整備の一つとして考えていきたい。
教育環境整備の一つ
 町長 必要だと考えており、教育環境整備の一つとして考えていきたい。

遊具で遊ぶ子供たち

桑原 米蔵 議員



可燃ごみ減少
 議員 クリーンセンターへの可燃ごみ搬入量減少とその影響は。
年間1%減
 町長 可燃ごみの減少は、ごみの分別・資源回収の更なる徹底などにより、年間1%程度減と見込んでいます。その影響は、
 1、1炉のみで運転する日が増加。
 2、蒸気タービンの発電量が下がり、クリーンセンターの自家消費電力は、それほど減らないため、売電量は大幅な減となる。
 3、ダイオキシン類については、煙突内及び、近隣地区の測定30箇所で行っている。その結果を速やかに報告しており、安全対策は万全だと聞いている。
 4、設備稼働以来7年経過しており、数年後に焼却設備・計装設備などの主

少子化対策とお見合い
 議員 現在65歳以上の方は7,293人で26%であり、10年後には10,400人となり39%になる。高齢化が進む中、少子化対策としてお見合いの場を提供してはどうか。
出合いの場を提供
 町長 町としても、少子化対策を色々行っている。その中の一つに、出合いサポーターによる活動に取り組んでいる。今後は、グリーンパーク吉峰・立山自然ふれあい館等で、自然にふれあいながら、気軽に語り合えるパークゴルフやパークユー大会など企画したい。

富山地区広域圏クリーンセンター

町田 信子 議員

自殺状況は
 議員 立山町の自殺の状況は。
立山町は高い
 副町長 平成15年以降、平成20年までの合計数は44人。内訳は男性31人・女性13人で、男性の自殺死亡が多い状況にある。また、自殺死亡率(人口10万人に対して)は、年によって変動があるが、平成20年、立山町29.0で、全国24.0、富山県27.2より高い率となっている。



通学バス問題
 議員 小学生の通学バス定期代の見直しを。
協議する機会を検討したい
 教育長 現在の通学費の補助対象については、旧大森小学校との統合にあたり、大森地区との協議において、旧大森小学校の1年生から4年生までの全児童を対象として、通学費の補助について取り決められた。それには「4km以内」という例外もある。
 大森地区から通学する児童については「概ね4km」を超える地域の児童へは、町の追加措置として、5年・6年生も助成の対象とした。今後、補助内容については地元・PTAなどと協議する機会を検討したい。

バスに乗り込む児童(大清水公民館)

石川 孝一 議員



減額の理由は
 議員 固定資産税引き上げ分のうち、毎年1千万円を福祉に回すとしていたが、500万円に減った理由は。
税率を引き下げた
 町長 これまで0.1%上がっていた。平成22年度以降は引き上げ分が0.05%となるので、その1割程度の500万円とした。固定資産税を引き上げている間は、増収分の1割程度を福祉サービスに充てていきたい。

ペレットボイラーの目的は
 議員 吉峰のボイラーをペレットボイラーにする目的は。メリット、デメリットは。木質ペレット利用で、コスト軽減が図れる他の方法があれば、よいと思うが。
地球温暖化防止
 農林課長 現在使用している灯油ボイラーは16年経過し、改修が必要。このため地球温暖化防止に寄与する、木質ペレットを燃料とするボイラーにすることとした。メリットは山林に放置されている間伐材の有効利用となり、計算上は二酸化炭素が発生しないこと。CO2削減量は年間320トン。デメリットは燃料費が高つくこと。他の方法についても研究はしたい。



あおぞら保育園のペレットボイラー

産業厚生常任委員会

総務教育常任委員会

明るい町をめざして

—地域グリーンニューティール基金事業—

- ▲ **農林課**
 - **有害鳥獣対策予算の内容**は。クマ、サル等の捕獲が減少し、東谷地区等でイノシシが増えて稲を踏み荒らし、甚大な被害を与えている。そのためイノシシ用大型捕獲おりを設置する。イノシシは用心深く、オリを設置しても1ヶ月以上の管理が必要である。捕獲隊の方にオリの管理をお願いし、被害防止に努めたい。
 - **陶器館の施設管理委託料**が大幅に減額されているが、やっていけないのか。
 - ▲ **委託料**については21年度は670万円を見ていたが、500万円とした。事業収入などを見直し、収入と歳出を勘案した。陶芸の担当に一人、窓口の方は二人で行っている。
- ▲ **建設課**
 - **都市計画マスタープラン**の内容は。立山町が将来あるべき姿として、全体構想を策定する。幹線道路網については、富立大橋の開通等による影響が住民サービスとして反映されれば、個別に審議されていくと考えられる。
- ▲ **健康福祉課**
 - **障害者タクシーの予算**が減額されているが。医療支援には、障害者と一緒に交通機関を利用する方法と、車両を提供する形で民間事業者に福祉サービスをお願する方法があり、その中で対応したい。
 - **介護認定調査**は、役場で出来ないのか。
 - ▲ **調査**するには調査員研修を受けないと出来ない決まりがある。調査は中新川広域行政事務組合で行っている。新規で急いでおられる方への調査は大至急お願している。
- ▲ **まちづくり交付金の内訳**は。
 - ▲ まちづくり交付金は、歳入は一括で計上され、建設課分は事業費2,600万円に対する1/4である。
- ▲ **健康福祉課**
 - **障害者タクシーの予算**が減額されているが。医療支援には、障害者と一緒に交通機関を利用する方法と、車両を提供する形で民間事業者に福祉サービスをお願する方法があり、その中で対応したい。
 - **介護認定調査**は、役場で出来ないのか。
 - ▲ **調査**するには調査員研修を受けないと出来ない決まりがある。調査は中新川広域行政事務組合で行っている。新規で急いでおられる方への調査は大至急お願している。
- ▲ **まちづくり交付金の内訳**は。
 - ▲ まちづくり交付金は、歳入は一括で計上され、建設課分は事業費2,600万円に対する1/4である。

地域おこし協力活動が始動

—新瀬戸地区—

- ▲ **総務課**
 - **自主防災組織活動事業**の防災器具等の使用状況や実施状況について把握しているのか。
 - ▲ **実際**どのような活動をしているのか把握しながら今後の対応を考える。また、貸器材は地区からの要望で支給している。必要に応じて町職員や防災アドバイザーを派遣し、対応している。
 - **人材育成・職員研修事業**の通信教育受講補助金が計上されているが、希望する講座を誰でも制限なく受けても補助されるのか。
 - ▲ **県の市町村職員研修機構**から2分の1の補助などがあり、業務に関係し、職員の資質向上に役立つことが補助の条件である。
 - **閉庁時間**が5時15分となり、窓口等で不都合な場合もあるのでは考慮できないか。
 - ▲ **月曜日に午後6時30分まで**窓口延長を行い、今後広報等で住民に周知し、6月1日にスムーズに実施できるように進めていく。
- ▲ **企画政策課**
 - **定住交流推進事業の地域おこし協力隊謝礼**が480万円計上されているが、その目的と内容は。
 - ▲ **地域おこし協力隊**は、3大都市圏から地域協力活動に参加するもの募集し、地域の活性化、地域に定着させることを目的とする事業である。活動内容は、山間地の一人暮らし世帯、高齢者世帯の生活支援、特産品など地域資源の開発及び情報発信、地域行事などコミュニケーション活動の支援、その他、地域活性化につながる活動である。隊員の報償費は年間240万円である。
 - **地域づくり事業補助金**が300万円計上されているが、21年度はどんな実績か。
 - ▲ 「**越中陶の里交流会の花いっぱいづくり**」の事業で新瀬戸小学校周辺道路にプランタを設置するものや、池田浄瑠璃文化財保存会等の8事業であった。
- ▲ **税料金課**
 - **徴収専門員**は何名であり、増員の予定はないのか。
 - ▲ **徴収員**は1名であり、4年間お願いし、年間約900万円を訪問徴収している。増員の予定はない。
- ▲ **教育課**
 - **放課後児童クラブ**利用料として180万円計上されているが、その内容は。
 - ▲ **放課後児童クラブ**は、国・県・町それぞれ3分の1の補助で運営しており、補助金については、補助基準額が設定されている。近年、利用者は増えており、そのため、利用施設の維持費等の経費も増加傾向にあり、その一部、月1,000円の負担をお願いする。また、運営を社会福祉協議会に委託し、内容を充実していきたい。
 - **共同調理場**建設事業の備品購入費として2,066万円計上されているが、古いものも利用しているのか。
 - ▲ **備品**の内容について、生徒が使用する食器を新しいものでみており、それに合う洗浄機を新しく大型のものにする。北部共同調理場で使用しているものも利用していく。



地域おこし協力隊員



車イスで移動できる「ハートフル号」

立山町高齢者外出支援事業

福祉タクシーにかわるものとして、利用者が経費の一部を負担する、「立山町高齢者外出支援事業」があります。この事業は、車イスのまま移送できる車両とその運転手を派遣するもので、車イスを利用している高齢者の通院と外出を手助けします。

立山町に住む、おおむね65歳以上の、介護認定を受けた車イス利用者が対象です。

車イスのまま移動できる3台の「ハートフル号」は、介助者も一緒に乗ることが出来、定員は1号車が3人、2号車が6人、3号車が5人です。平成13年から始まったこの事業には、これまで148人の方の登録利用があり、現在56人の登録者がおられます。利用については立山町社会福祉協議会、または役場健康福祉課にご相談ください。

住民環境課

- **地域グリーンニューティール基金事業**の活用は。通学路で、夜間照明が未整備となっている箇所地域グリーンニューティール基金事業を活用し、長寿命で地域環境にやさしいLED照明を設置したい。

議会活動日誌

3月

1月

- 4日(月) 執務始め式
- 6日(水) 農業委員会新年会
- 8日(金) 商協新年懇親会
- 9日(土) 消防出初式
- 10日(日) 成人式
- 11日(月) 武道稽古初め
- 13日(水) 観光協会新年会
- 18日(月) 立山地域建設業組合
総会
- 19日(火) 町長・町議会議員選
挙告示
- 24日(日) 町長・町議会議員選
挙投票日
- 28日(木) 当選議員協議会

2月

- 2日(火) 議員懇談会
- 10日(水) 全員協議会
臨時議会
- 13日(土) とやま鍋自慢大会開会式
- 16日(火) 議会運営協議会
全員協議会
臨時議会
- 17日(水) 町村議会議長協議会
- 18日(木) 立山舟橋商工会新年会
- 19日(金) 富山地区広域圏事務組合
議員協議会、2月定例会
- 20日(土) 立山黒部を愛する会特別
講演会
- 町体育協会新年会
- 22日(月) 町村議会議長会定期総
会・研修会
- 飲食業組合通常総会
- 23日(火) 議会運営委員会
全員協議会
- 24日(水) 町商工同友会新年会
- 25日(木) 町遺族会員研修会
- 26日(金) 県日中友好議員連盟講演会
- 27日(土) 上段中部営農法人設立総会
町猟友会総会・懇親会
新型消防ポンプ自動車入
魂式及び祝賀会

- 1日(月) 町区長会総会
富山サンダーバースキャンピ
ン歓迎セレモニー
- 2日(火) 立山北部小学校屋内運動場竣工式
- 3日(水) 本会議(提案理由の説明)、全員
協議会
- 4日(木) 全員協議会
- 10日(水) 本会議(一般質問・質疑)
- 11日(木) 本会議(一般質問・補正予算等
の先議、議案等の委員会付託)
- 12日(金) 総務教育常任委員会
- 15日(月) 産業厚生常任委員会
- 16日(火) 雄山中学校卒業式
- 18日(木) 議会運営委員会
全員協議会
本会議(委員長報告、討論、採決)
- 19日(金) 全小学校卒業式
- 20日(土) 町ゲートボール協会定期総会
消防夜間業務訓練・懇親会
- 24日(水) 立山芦峯小学校休校式
町体育協会定期総会
- 25日(木) グループホームまえざわの家竣
工式
- 田畑・穂積選手県民栄誉賞贈呈式
- 26日(金) 議会運営委員会
全員協議会
臨時議会
- 郡体育協会定期総会
- 28日(日) パークゴルフ協会定期総会
ビーチボール協会総会
- 29日(月) ケアホーム立山あいの風懇談会
議会広報特別委員会
- 30日(火) 交通事故防止対策協議会
- 31日(水) 財団法人立山グリーンパーク理
事会



富山サンダーバース
キャンフィン歓迎セレモニー



あしがき

新メンバーが加わり「議会だよ
り」第35号発行の運びとなりました。
この度、議会広報委員長の任命を
拝し、責任ある立場として決意を新
たにしているところです。
さて、毎回のことながらスタッフ
一同、それぞれの役割分担をもち、
「あすればどうか」「この方がよ
い」と意見を出し合いながら、町民
の皆さんにとって読みやすい紙面に
なるよう努力を重ねております。
立山町の動きや議会の活動状況を
広く町民の皆さんにお知らせし、一
人でも多くの方に目を通していただ
ければ幸いです。不十分なところも
多々あると思いますが、一生懸命頑
張ります。議会や議会だよりについ
て皆様のご意見をお待ちしておりま
す。
(町田記)

議会広報特別委員会

- 委員長 町田信子
- 副委員長 後藤智文
- 委員 亀山一彰
- 佐藤太一
- 伊藤康弘
- 石川孝一

- 中川太一
- 佐藤康弘
- 伊藤孝一
- 石川孝一

議場の花

提供 雄山家政専修学校
(吉本澄子校長)

議会や議会だよりに
ついてのみなさんの
ご意見・ご感想は
立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440
ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会議録] もご覧ください。